

Working with Older Persons in Forced Displacement

移動を強いられた高齢者の問題への取り組み

NEED TO KNOW GUIDANCE 5

必須ガイダンス 5

Any part of the guidance may be reproduced, translated into other languages or adapted to meet local needs without prior permission of UNHCR, provided that all parts are distributed free of charge and UNHCR is acknowledged.

無料で配布し、かつ UNHCR が出典として明記されている場合に限り、UNHCR の事前の許可なく、本ガイダンスの複製、他言語への翻訳または現地のニーズに合わせた修正を加えることができる。

© 2013, United Nations High Commissioner for Refugees

Division of International Protection

United Nations High Commissioner for Refugees

94, rue de Montbrillant

1202 Geneva, Switzerland

Email: HQTS00@unhcr.org

www.unhcr.org

目次

目的 2

概要 3

無差別および参加：難民保護の鍵 5

主な考慮事項 6

主要文献 18

目的

高齢の難民¹女性および男性は、強制移動の様々な段階（避難、移動、第三国定住および再統合）において特定の課題に直面する。UNHCRとそのパートナー機関の職員は、高齢の関心対象者の権利が差別なく守られるよう確保する必要がある。そのためには、移動を強いられた高齢者のニーズとその能力の両面について徹底的に理解すべきである。高齢者がすべての保護活動や恒久的解決にアクセスでき、その対象となるようUNHCRが取り組むにあたって、年齢、ジェンダー、多様性（AGD）アプローチの体系的な適用が鍵となる。このガイダンスは、高齢難民の保護を向上させるにあたっての考慮事項について、指針を提供するものである。

¹ このガイダンスは難民と難民の話に焦点を当てている。しかし、このガイダンス中の助言は庇護希望者、帰還民、無国籍者、国内避難民およびその他UNHCRの関心対象者にも関連がある。

概要

今日、世界人口の約 12.5%が 60 歳以上、22%が 50 歳以上（平均寿命の短い地域では「高齢」と見なされる年齢）であると推計される。2050 年までに、世界人口の 4 分の 1 が 60 歳を超え（60 歳以上が 12 歳以下よりも多くなる）、多くの人が 80 歳以上となる。この傾向が意味するところは、より多くの高齢者が移動を強いられるということである。2000 年には、UNHCR の関心対象者全体の 8.5%を高齢者が既に占めていたが、その数が 3 分の 1 に達する場合もあった。

国連は、高齢者を 60 歳以上の者と定義している。しかし、家族やコミュニティ内では、家族内での立場（祖父母）、容姿（白髪やしわ）、加齢に伴う健康状態といった社会的、文化的な指標を使って年齢を定義することが多い。また、衝撃的な経験による心理的、心理社会的なダメージと病気や栄養不足により、難民は定住している人々と比べて早く「老化」することが研究で明らかになっている。²その結果、高齢に伴って出てくる多くの問題が、40 代、50 代の難民に現れることもある。

高齢によってニーズが増大することが多いが、高齢者が家族・コミュニティ・社会において果たす役割を認識し、それを支援することが重要もある。高齢者は経済活動を行い、家族の収入に貢献し続けることも多い。また、多くの高齢者が（両親が働いている場合に）日中に子どもの世話をしたり、（子どもが両親を亡くした場合に）子どもの世話を一手に引き受けている。伝統的な助産師を務めたり、代替的、補助的な医療や栄養に関する重要な知識を持つ高齢女性も多い。また、高齢者は歴史・文化・伝統を伝えることができ、紛争解決や意思決定において重要な役割を果たすことも多い。

² Atwell, R.S.J., I. Correa-Velez, and S.M. Gifford, “Ageing out of place: health and well-being needs and access to home and aged care services for recently arrived older refugees in Melbourne, Australia”, *International Journal of Migration, Health and Social Care*, 3(1), 2007 (「不自然な老化：近年オーストラリア・メルボルンに到着した高齢難民の健康・福祉上のニーズ、住居へのアクセス、老人介護サービス」) pp.4-14

4 ページ

同時に、高齢者は特有のニーズを持っている。移動能力が低下し、視力や聴力が落ち、思考力や筋力が低下することもある。また、慢性的な健康問題や特別な栄養上のニーズがあることもある。さらに、高齢者は暴力（性的虐待や家庭内暴力、家族による搾取・差別を含む）のリスクが高まっている可能性もある。このような困難は、強制移動がもたらす試練の他、高齢者が人道機関に登録されず、人道援助から除外されることが多いという事実によって増幅する。高齢者が直面する課題は、コミュニティ内で割り当てられた社会的、文化的役割により、女性と男性で大きく異なることがある。高齢女性は社会的、経済的地位が低く、見落とされるリスクがさらに高まっていることが多い。

無差別および参加：難民保護の鍵

人道関係者が高齢者のニーズを十分に理解し、その福祉に関する決定に高齢者を積極的に参加させなければ、高齢者は保護や援助プログラムから除外されるおそれがある。高齢者は常に家族援助プログラムや家族・コミュニティの互助ネットワークから利益を得られると推定することはできない。UNHCR とパートナー機関の職員は、意識して包含的な参加型アプローチをとる必要がある。(参加型調査などの) 協議プロセスを通じて、高齢者は自分たちのニーズに本当に合ったプログラムの企画・実施に貢献することができ、状況改善のために自分たちでできる活動への支援を受けることもできる。危機や長期化した状況のあらゆる段階を通じた協議と参加が不可欠である。高齢の女性と男性では、文化的地位や社会経済的な地位の違いによって、強制移動中の経験は異なるだろう。各事務所は、保護活動を企画する際に考慮できるよう、時間と労力を割き、こうしたジェンダーによる差異を十分に理解しなくてはならない。

アクション

- 高齢女性が意思決定やリーダーシップ構造にアクセスできるようにするには、多くの場合、具体的で持続的な注意と支援が必要であることを認識し、高齢の女性および男性の意思決定・リーダーシップ構造への関与を促す。
- 高齢者組織の形成を促進する。高齢者が助け合い、自らを擁護する能力を育成する。
- 国内の政策・事業に高齢難民を含めることを提唱する。

主な考慮事項

保護・援助を提供する際には、以下を考慮すること。

包括的で権利に基づくプログラム計画を導入する

高齢者は、他の人々と同じ条件であらゆる人道プログラムの対象となる権利を持つ。関連する原則は、UNHCRの年齢・ジェンダー・多様性（AGD）に関する政策³および高齢難民に関する政策⁴に定められている。

高齢者は若い難民と共通するニーズを持つ。ただし、高齢者の状況や特定のニーズにより、調整が必要となるかもしれない。例えば、高齢者のアクセスを容易にするために、サービスの提供方法を変更する必要があるかもしれない。場合によっては、高齢の女性や男性について確認された特定のニーズに対処するために、的を絞った措置が必要となるだろう。援助・保護プログラムが高齢の女性や男性に配慮したものでない場合、高齢者は疎外または完全に排除されてしまうこともある。

アクション

- UNHCR職員が高齢者の権利に関する国際基準⁵および国内基準についての理解を有していることを確保する。高齢者支援について専門性を有する団体とパートナーシップを形成する。
- UNHCR とそのパートナー機関のプログラムが包括的でアクセス可能なものであることを確保するため、UNHCR 内部のキャパシティを高める。
- 年齢差別、年齢に対する態度、事業計画用の年齢・性別別のデータの重要性に対する意識を高めるために、UNHCR とパートナー機関の職員を対象とした研修を行う。

³ UNHCR, Age, Gender and Diversity Policy (2011)(年齢・ジェンダー・多様性に関する政策) <http://www.unhcr.org/refworld/docid/4def34f6887.html>.

⁴ UNHCR「高齢の難民に対するUNHCRの政策」(2000年)(仮訳)(UNHCR's Policy on Older Refugees (2000))www.unhcr.org/refworld/docid/47036b502.html.

⁵ *Strengthening Older People's Rights: Towards a UN Convention* (高齢者の権利の強化：国連条約に向けて) http://www.inpea.net/images/Strengthening_Rights_2010.pdf.

7 ページ

アクション

高齢者のニーズへの対処について、二本立てのアプローチを採用する。

- すべての対応が高齢の女性と男性を含み、包括的でアクセス可能であるように計画する。
- より広い運用計画の中に、高齢者の特定のニーズに対処するための的を絞った措置を含める。
- 年齢・性別別のデータ分析にもとづいた介入を行う。

高齢者を特定し、登録する

高齢者は UNHCR への登録や援助のために指定された場所に行けるとは限らない。高齢者はあまり移動できないこともあれば、体が弱っていることもある。また、特に高齢女性の場合、家庭内の役割のために、自宅にいないかもしれないかもしれない。家族と一緒にいない高齢者は見過ごされることもある。そのため、高齢者が保護にアクセスするためには、高齢者の特定と登録を目的としたアウトリーチが不可欠である。

アクション

- 年齢・性別別のデータが体系的に収集・使用されるようにする。
- 評価ツールに高齢者のニーズ・能力に関する質問を含め、年齢に配慮したものにする。
- 高齢者を見過ごすことがないよう、評価にアウトリーチを組み込む。
- 高齢者の相互援助ネットワークが存在する場合、そうしたネットワークを情報収集に活用する。
- サービス施設や市民・宗教・その他のコミュニティ組織から高齢者の役割、地位および居場所に関する情報を収集する。

高齢者の能力を認め、自立を支援する

高齢者が持つスキルや資源を特定する。特定にあたっては、以下を念頭に置く。

- 高齢者は収入を得る手段がある場合、独立して生活できる。
- 高齢者は子どもや家族から援助を受けるのと同時に、子どもや家族を援助している可能性が高い。
- 高齢者は現役で経済活動を行っている可能性が高い。⁶
- 高齢者は生き残るための技術を伝えることができる。
- 高齢者は文化や伝統を伝承する。
- 高齢者は仲介者の役割を務め、平和の構築や紛争解決の取り組みに貢献できる。

高齢者の能力を役立てるための支援を行った場合、高齢者のリスクや依存性が低下し、さらに強制移動が引き起こす試練に、高齢者や家族・コミュニティ対処する能力が高まることがある。そのため、プログラムを計画する際は、高齢者が直面するリスクを軽減すると同時に、高齢者が独立して尊厳を持って生活するための機会を創出するように常に心がけること。

アクション

- 高齢者の様々な能力や家族・コミュニティへの具体的な貢献について UNHCR 職員が理解・認識し、支援することを助ける。
- 介入措置が高齢者の役割（例えば、子どもの世話）を損なわないようにする。
- どうすれば高齢者がコミュニティ内で発言権や積極的な役割を与えられるかについて高齢者と共に検討する。
- 子どもやその他の被扶養者を世話する高齢者を子ども保護プログラムに含める。
- 生計プランやその実施に関与する高齢者の能力・希望を認識する。

⁶ ヘルプエイジ・インターナショナル（HelpAge International）によると、開発途上国の 60 歳以上の人の少なくとも半数が現役で経済活動を行っている。多くの人は 70 代後半まで働いている。また、最も確実に責任を持ってローンを返済するのに含まれる。

シェルター・衛生施設がアクセス可能であるか確認する

高齢者は移動能力が低下しているため、高齢者用の一時的、暫定的、恒久的なシェルターや衛生施設を設けることが重要である。衛生施設にアクセスできない場合、高齢者が独立して生活する能力が著しく低下することがある。不適切なシェルターは高齢者を家に閉じ込め、高齢者の独立性やサービスを受け、生活手段・社会活動に取り組む能力を制限する。これらの要素がストレスや健康上、保護上のリスクを生む。

施設を建設後に改造するよりも、最初からアクセス可能な施設にした方が良く、経済的である。国際的な利用可能性ガイドラインを満たす年齢に配慮したデザイン（傾斜路、手すり、照明および衛生施設）を取り入れる。⁷ トイレの使用時の補助が必要な人が尊厳を持って介助を得られるよう、施設は十分な広さであるべきである。高齢者用の安全なシェルター・住居を提供し、性およびジェンダーにもとづく暴力（SGBV）⁸のリスクを最小化するようにシェルターを設計する。

アクション

- シェルターに関する特定のニーズについて高齢の女性・男性と協議し、シェルターの設計に関与させる。
- シェルター、衛生施設、共有施設が文化的に受け入れられ、年齢に配慮し、安全な設計であるか確認する。
- コミュニティ施設、診療所、水源、その他の施設が高齢者の居住地から近くにあることを確保する。
- 成人親族は必ずしも高齢者のために住居を提供してくれるわけではない。一時的または恒久的なシェルターを建設するにあたり、高齢者を個別の世帯として扱う。ただし、多世代世帯を分断しようとはしない。

⁷ HelpAge International and International Federation of Red Cross and Red Crescent Societies, *Guidance on including older people in emergency shelter programmes* (2011) (高齢者を緊急シェルター・プログラムの対象とするための指針) <http://www.helpage.org/download/4d7f5a8b98378/>

⁸ シェルターは男女別にすることなどにより、集団暴力を防止するよう設計されるべきである。高齢者の緊急シェルター滞在に関する情報については、以下を参照のこと。
<http://www.helpage.org/download/4d7f5a8b98378/>

適切な食料・その他の物資を用意し、アクセス可能な方法で配給する

体が弱った高齢者や移動能力が低下した高齢者は、配給を受けるために長期間並ぶことができない。また、一元化された配給場所に行き、食料・その他の物資や水を受け取ることができないかもしれない。また、所有物を守り、扶養家族の世話をする必要があるかもしれない。そのため、高齢者がアクセス可能な場所に食料、燃料、その他の基本物資を備蓄し、高齢者や移動能力が低下した人々のために専用の列を設けること。また、移動能力が低下した個人の配給場所への移動を助け、コミュニティ・ワーカーや信頼できる協力的な家族などを活用して自宅に物資を届ける手配をすること。列に並んでの配給以外に方法がない場合、座席、日よけ、水、トイレ設備が必ず提供されるようにする。

食料・その他の物資に、高齢者が必要とするものが入っていないこともある。高齢者に配給される食料が高齢者のタンパク質や微量栄養素の必要量を満たし、咀嚼・消化しやすいものであることを確保すること。循環障害のために低温に弱い高齢者もいることから、高齢者用の物資には予備の毛布や文化的に許容される衣服を入れるべきである。高齢者は尊厳を持って生活するためにサニタリーナプキンを必要とすることもある。また、食料が家族内で平等に分けられないこともある。高齢者が十分な食料を得られるようモニタリングするために訪問を行い、高齢者に温かい食事を配給することを検討すること。

アクション

- 高齢の女性・男性をプログラムの企画・実施に関与させる。配給がアクセス可能で、適切なものであることを確保する。
- 高齢者のための専用の列の設置、交通支援、荷物の小型化、自宅への宅配を検討する。
- どのような物資が配給されるべきかを決める際には、高齢者と協議し、物資がきちんと高齢者に届くよう確保する。
- 食料・その他物資の高齢者への配給をモニタリングし、搾取、強奪、その他の形態の差別または虐待を検知・予防する。

適切な栄養と医療その他のサービスへの良好なアクセスを提供する

医療やその他のサービスが一元化されている場合、高齢者によるアクセスが難しい場合も多い。コミュニティ・ワーカーを活用して施設に行くことができない高齢者を特定し、自宅でケアを提供することや診療所・病院への照会を受けた高齢者に交通手段を提供することを検討する。高齢者はこれらのサービスへの同伴が必要な場合がある。高齢の女性・男性の様々な健康上のニーズに特別な注意を払い、健康な加齢や慢性疾患の自己管理に関する教育を行うためにコミュニティ・ワーカーを養成すること。

高齢の女性や男性の栄養失調は見過ごされることが多い。上腕囲径測定帯（MUAC）を使用し、レセプション・センターや診療所で高齢者の体系的なスクリーニングを行うこと。また、コミュニティ・ヘルスワーカーを養成し、栄養失調の高齢者を見つけて栄養指導を行い、深刻な栄養失調を抱える人を最寄りの医療施設に照会する。補助・治療用給食プログラムに高齢者を加え、コミュニティベースでの栄養失調管理の対象を高齢者まで拡大する。

高齢者の意思能力が低下することで、家族やコミュニティ内の他者による支援の必要性が高まることもある。

アクション

- 外出できない高齢者を支援するため、コミュニティ・ワーカーを活用する。
- 交通手段を提供することにより、高齢者がサービスへのアクセスをできるよう助ける。
- サービスを高齢者がアクセスできるものにする方法をサービスプロバイダーに認識させる。

家族およびコミュニティ構造を支援する

強制移動の状況下において伝統的な高齢者支援ネットワークが疲弊したり、完全に崩壊したりすることがある。その結果、高齢者が新しい状況に適応するのを助ける人が誰もいないこともある。また、高齢者が自分の役割や地位を失うこともある。例えば、コミュニティ内で尊敬されるリーダーであったにも関わらず、突然援助に頼ることになったり、慣れない環境に置かれたり、家族の負担と見なされたりすることもある。特に高齢女性は、その社会経済的地位が低く、コミュニティに貢献できない場合や高齢女性の貢献がコミュニティによって認識されない場合、コミュニティの負担と見なされる可能性がある。そのため、危機に瀕する可能性のある高齢者を支援できるようにコミュニティや家族構造を強化することが不可欠である。

アクション

- 伝統的な高齢者支援システムを特定し、コミュニティがそれを再構築するのを助ける。
- 危機に瀕する可能性のある高齢者の家族がサポート・ケアを提供するのを助ける。
- 高齢者が自分と家族・コミュニティに影響を与える意思決定に関与することを確保する。
- 世代間の支援が高齢者と若者の両方に役立つか検討する。世代間の関係を強化・維持する。

高齢者のニーズを満たす恒久的解決を提供する

恒久的解決の選択は個人的な決定であり、高齢者は、他の家族の決定がどうであれ、自分にとっての恒久的解決について選択する権利を持つ。しかし、多くの高齢者は家族やその他の介護者を頼り、一緒にいることを望む。そうした希望があるにもかかわらず、移動の文脈において家族との離散を避けることが非常に困難な場合もある。先行きが不透明な中で帰還する家族は高齢親族について責任を負うことに消極的なこともあり、難しい選択を迫られるかもしれない。

家族が高齢者向けのサービスが存在しない地域で家や生活を再建する間、高齢者はキャンプに残されるかもしれない。また、家族が高齢者をどのように養っていくのか分からず、高齢者が遺棄されることもある。

可能な限り、また、高齢者の希望に従って、帰還・庇護国社会への定住・第三国定住のプログラムでは高齢者を世帯に含めるべきである。意思に反して家族や介護者と離散した高齢者は家族を奪われ、孤立し、拠り所がないと感じる可能性が高い。その結果、高齢者のリスク増大が高まる。そのため、恒久的解決を検討する際は高齢者、家族、その他の人と協働し、信頼できる継続的なサポート方法を特定することが不可欠である。

アクション

- 高齢者が希望する恒久的解決について、本人の選択を尊重する。
- それが望ましいと考えられる場合は、家族システムを保ち、介護者を支援するよう、恒久的解決を計画する。
- 高齢者の家族やそれまで世話をしてきた介護者を追跡する。介護者が見つからない場合、支援が必要な高齢者を他の受入家族や協力的な隣人と結び付け、高齢者が可能な限り孤立や遺棄に直面しないようにする。
- （高齢者のみで、または家族と）帰還する高齢者に必要な交通手段があり、高齢者が家を再建し、生活を立て直すための援助を受けられるか確認する。
- キャンプが閉鎖される場合にキャンプを去ることができない高齢者や、帰還しないことを選択した高齢者のために、社会的保護メカニズムなどの解決策を見つける。
- 高齢者（特に高齢女性や配偶者と死別した人）が、住居・土地・所有権の問題を処理するためのイニシアチブに含まれることを確保する。

高齢者の虐待・搾取を防止し、対処する⁹

高齢者に対する不当な取扱いは、「高齢者虐待」として言及されることがある。世界保健機関（WHO）は、高齢者虐待を「信頼関係が期待される関係内で発生する単一あるいは反復的な行為又は適切な措置の欠如であり、高齢者に危害又は苦痛を与えるもの」と定義している。高齢者虐待は重要な保護上の懸念事項であるが、家庭内で起こることが多いため、あらゆる文化を通じて、ほとんど理解されておらず、あまり報告されていない。WHOは、（対象先進国での）高齢者虐待の発生率は 1% から 10%と推計している。しかし、高齢者虐待はあらゆるコミュニティに存在し、他の社会問題の多くと同様、住み慣れた土地を迫いたてられることによって深刻化する。高齢の女性と男性の両方が虐待のリスクに晒される一方で、女性の社会的地位が男性に比べて低い状況においては、高齢女性が配偶者と死別し、資産が没収された場合に遺棄によるネグレクトのリスクに晒される可能性がより高い。また、女性はより執拗で深刻な形態の虐待や怪我のリスクに晒される可能性が男性よりも高いことがある¹⁰。

高齢者虐待には、以下が含まれることがある。

- **身体的虐待** – 平手打ち、打撲、身体的または化学的な手段を使って行動の自由を制限するなど、高齢者に身体的な苦痛や怪我を負わせること。
- **性的虐待** – 意思に反するあらゆる性的関係。
- **ネグレクト** – 脆弱な高齢者に食料、シェルター、医療または保護を与える責任を持つ人々による不作為。
- **搾取** – 高齢者の資金、所有物または資産を他者の利益のために不法に取得・乱用・隠匿することまたは搾取的な労働の取り決め。
- **精神的虐待** – 屈辱的、威圧的、脅迫的な言動によって、高齢者に精神的苦痛、苦悩または極度の不安を与えること。
- **放棄** – ケアや後見の責任を果たしていた人による脆弱な高齢者を見捨てること。

⁹ このセクションはNational Center on Elder Abuse（全国高齢者虐待センター／NCEA）のウェブサイトから借用した。<http://www.ncea.aoa.gov>参照。

¹⁰ WHO Fact Sheet N°357: Elder Maltreatment（WHOファクトシート 357号：高齢者虐待）を参照。<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs357/en/index.html>

以下は、注意を要する潜在的な高齢者虐待の指標である。

- 打撲傷、圧迫痕、骨折、擦り傷や火傷は、身体的虐待、ネグレクトまたは不当な扱いを意味することがある。
- 通常の活動を説明なく突然止めることや注意力の急な変化、普段とは異なる鬱状態は、精神的虐待を意味することがある。
- 胸部または生殖器部の打撲傷は、性的虐待を意味することがある。
- 床擦れ、未処置の医療ニーズ、不衛生や異常な体重減少は、ネグレクトを意味することがある。
- 軽視、脅迫やその他の権力・支配力の乱用は、言葉による虐待や情緒的虐待の指標となる。
- 介護者と高齢者との間の険悪な関係・緊張関係や頻繁な口論も虐待の兆候であることもある。

社会的関係を回復し、協力的なコミュニティのメンバーとのつながりを作ることは、高齢者に対する暴力の防止に役立つ。しかし、高齢者虐待を可視化し、対処するためには、それ以外の措置も必要である。

アクション

- 保護戦略が高齢者虐待に対応するものであることを確保する。また、高齢者虐待が起こる文化的背景を考慮する。さらに、高齢者の身体的、精神的、物質的、性的な虐待の兆候に関する UNHCR 職員やコミュニティの認識を高める。
- コミュニティ内的高齢者と協働し、高齢者虐待を防止し、対処するための戦略を立てる。
- 高齢者虐待の兆候を認識するためにコミュニティ・ヘルスワーカーを養成する。必要な場合、治療および照会を行う。
- 高齢者虐待の報告について、秘密保持メカニズムを提供する。
- あらゆる世代と協働し、高齢者の権利や高齢者虐待に関する認識を高める。

性およびジェンダーに関する暴力（SGBV）を含む高齢女性の特別なリスクを防止し、対処する

女性は男性に比べて長寿傾向にあることから、高齢者の大半は女性であり、その多くは単身である。文化的規範が高齢女性の自立を制限している社会もある。

- 年齢やジェンダーの壁により、意思決定手続きから女性が除外されることがある。
- ジェンダーの壁により、女性が職につながるような技能をあまり持たず、職務上の地位が低いことがある。また、老齢年金を受けられないこともある。
- 相続法により、女性が財産を取り上げられることがある。
- 文化的慣習や家族内での役割により、女性が家の中に閉じ込められていることがあり、いさかいが生じた場合に、女性が危険に晒される可能性がある。
- 出産年齢の終了に係る特別な健康上のニーズにより、適切なカウンセリングや治療を受けられない女性がリスクに晒される可能性がある。

また、高齢女性は性およびジェンダーに関する暴力（介護者や高齢男性による暴力を含む）のリスクに晒されている可能性がある。男女混合の共用シェルター・収集センターの中やキャンプ外で薪を集める際に、高齢女性に対する強姦や性的暴力が発生している（下記参照）。そうした暴力は見過ごされることが多い。強姦や性的暴力に関連する汚名や不名誉をおそれ、そうした行為を報告するのが難しいと考える高齢女性が若い女性に比べて多いことが過小認識の主な原因である。魔女であるとのそしりを受け（下記参照）、社会から葬り去られたり、殺害されたりするものも多くいる。そのような暴力は多くの場合、認識されていない。それらが認識されていない主な理由として挙げられているのは、関連の行為によって、社会的な汚名を着せられるまたは恥辱を受けるため、高齢の女性は若い女性に比べて、そのような事件を報告しづらいということである。

アクション

- 高齢女性のニーズについて高齢女性と個別に協議し、保護・援助活動においてそれらのニーズに対処する。
- SGBV に関する決定や対処戦略・防止活動に高齢女性と男性を関与させる。そのような活動のあらゆる部門（健康、心理社会、シェルター、安全な燃料、司法へのアクセスなど）に高齢女性と男性を関与させる。
- 保護を目的とした介入措置が住居、女性の土地・所有物に対する権利に関する事項への対処も含み、特に配偶者と死別した女性を保護するものであることを確保する。

高齢女性に対する魔女狩りを防止し、対処する

魔法や魔術が広く信じ続けられている社会では、高齢女性は魔女として非難される可能性が高く、危害、排斥、時には殺害の対象となることがある。病気、家族の死、農作物・家畜・その他の生計手段の損失を説明するために魔術が挙げられることが多い。単身の高齢女性のコミュニティ内での地位が低く、協力的な家族ネットワークがない場合、または、経済的に依存している場合に、特に魔女狩りの影響を受けやすい。

このような信念を持つ社会で特定の集団が直面するリスクを特定・理解し、魔女狩りの対象となる個人を保護することが不可欠である。同時に、女性の権利を推進し、コミュニティの対話を促し、高齢女性向けの生計の手段を創出することにより、魔女狩りの発生を減らすための措置を取る。

アクション

- コミュニティのメンバーと協働し、魔術を理由としたの暴力を特定し、防止するための措置を構築する。
- コミュニティ内で魔女狩りについて影響力を持つ人（宗教的指導者、文化的長老）を特定し、魔術に関する訴えを管理するための文化的に許容される非暴力的な代替手段（例えば、共同の浄化儀式）について議論する。
- 暴行罪に関する国内法（魔術に関する訴えに関連する法律を含む）についてコミュニティが認識するよう確保する。
- すべての高齢者（読み書きができない人や聴力・視力・その他の機能障害を持つ人を含む）が、秘密が保持される報告制度やその他の利用可能な援助・サービスにアクセスする方法について理解することを確保する。
- 警察・司法と協働し、被害者を保護し、魔術に関する訴えに関連する暴力の加害者に対する法的措置を開始する。
- 魔女として告発された女性の安全とコミュニティへの再統合を確保する。これは、女性たちの生計を立てるための活動へのアクセスを促進することなどによって達成される。

主要文献

- Action Aid, *Condemned without trial, women and witchcraft in Ghana* (2012) (裁判なき有罪判決：ガーナの女性と魔術)
http://www.actionaid.org.uk/doc_lib/ghana_report_single_pages.pdf%20%20
- HelpAge International and International Federation of Red Cross and Red Crescent Societies, *Guidance on including older people in emergency shelter programmes* (2011) (高齢者を緊急シェルター・プログラムの対象とするための指針)
<http://www.helpage.org/download/4d7f5a8b98378/>
- HelpAge International, *Older People in Disasters and Humanitarian Crises: Guidelines for Best Practice* (2000) (災害・人道危機における高齢者：ベストプラクティスガイドライン)
<http://www.unhcr.org/refworld/docid/4124b9f44.html>
- Humanitarian Practice Network, *Protecting and Assisting Older People in Emergencies, Network Paper No. 53* (2005) (緊急時における高齢者の保護と援助 (ネットワークペーパー 53号)) <http://www.unhcr.org/refworld/publisher.HPN,..43cfa4364,0.html>
- 機関間常設委員会「人道措置と高齢者：人道支援機関への基本的指針」(2008年)(仮訳)(Inter-Agency Standing Committee, *Humanitarian Action and Older Persons – An Essential Brief for Humanitarian Actors* (2008))
<http://www.enonline.net/resources/658>
- *Strengthening Older People's Rights: Towards a UN Convention* (高齢者の権利の強化：国連条約に向けて) http://www.inpea.net/images/Strengthening_Rights_2010.pdf
- UNHCR, *Age, Gender & Diversity Policy, working with People and Communities for Equality and Protection* (2011) (年齢・ジェンダー・多様性ポリシー：平等と保護のために人々・コミュニティと協働する) <http://www.unhcr.org/refworld/docid/4def34f6887.html>
- UNHCR「高齢の難民に対するUNHCRの政策」EC/50/SC/CRP.13 付属書II (2000年)(仮訳)(UNHCR, *Policy on Older Refugees. EC/50/SC/CRP.13, Annex II* (2000))
<http://www.unhcr.org/refworld/docid/47036b502.html>
- UNHCR, *Seeking meaning: an anthropological and community-based approach to witchcraft accusations and their prevention in refugee situations* (2012) (意味を求めて：難民状況における魔術に関する訴えとその防止) <http://www.unhcr.org/refworld/docid/4fc49bed2.html>
- WHO Fact Sheet N° 357: *Elder Maltreatment* (WHO ファクトシート 357号「高齢者虐待」)
<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs357/en/index.html>

必須ガイダンスシリーズ

- 「移動を強いられた障がい者の問題への取り組み」(仮訳) (Working with Persons with Disabilities in Forced Displacement)
- 「移動を強いられたレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、インターセックスの問題への取り組み」(仮訳) (Working with Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender and Intersex Persons in Forced Displacement)
- 「移動を強いられた民族的又は種族的、宗教的及び言語的少数者に属する者の問題への取り組み」(仮訳) (Working with National or Ethnic, Religious and Linguistic Minorities and Indigenous Peoples in Forced Displacement)
- 「移動を強いられた性およびジェンダーに関する暴力のサバイバーである男性および少年の問題への取り組み」(Working with Men and Boy Survivors of Sexual and Gender-based Violence in Forced Displacement)
- 「移動を強いられた高齢者の問題への取り組み」(仮訳) (Working with Older Persons in Forced Displacement)

すべてのテキストは以下から多言語で入手できる。

<http://www.unhcr.org/refworld/docid/4e6072b22.html>